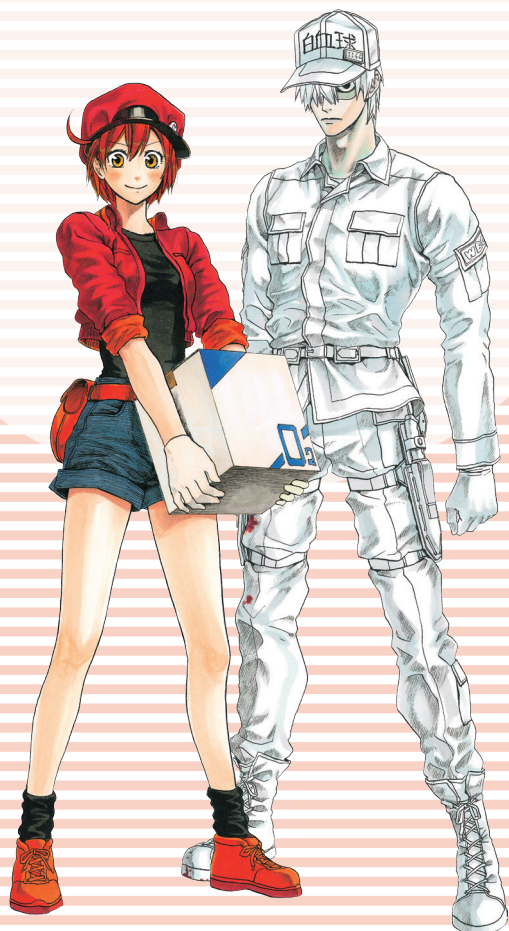


新型コロナワクチン スパイクバックスの 接種を考えている方へ

はたらく細胞

さいほう



スパイクバックス[※]について

本ワクチンはmRNAワクチンです。

体内で新型コロナウイルスに特徴的なパーツを作る設計図として働くことで、免疫を誘導し、ワクチンとしての効果を発揮します。

ウイルスそのものではなく、免疫を反応させるためのパーツを作ります。

※以下「スパイクバックス」を本ワクチンと言います

接種された後の注意事項

- ワクチン接種に対する緊張や痛みをきっかけに気を失う(失神すること)があります。失神による転倒を防ぐためにも、接種後15～30分程度は体重を預けられる場所(例:背もたれや肘掛けのある椅子で体重を預けて座るなど)でなるべく立ち上がらないようにしてください。
- ワクチン接種によりショックやアナフィラキシーなどの重いアレルギー反応が起きることがあります。接種医療機関内にいることですぐに対応できます。しばらくの間は接種医療機関の施設内にいるようにしましょう。

接種スケジュール

5歳以上の方

- 前回の新型コロナワクチンの接種から少なくとも3カ月経過後後に接種を受けることができます。
- 初めて新型コロナワクチンを接種する方は、本ワクチンの1回目の接種後、およそ4週間の間隔で2回目の接種を受けることができます。

生後6ヵ月以上 4歳以下の方

- 初回免疫: 初めて新型コロナワクチンを接種する方は、本ワクチンの1回目の接種後、4週間の間隔で2回目の接種を受けてください。
 - ・ 1回目に本ワクチンを接種した場合は、原則として2回目も本ワクチンの接種を受けてください。
 - ・ 1回目の接種から4週間を超えた場合には、できる限り速やかに2回目の接種を受けてください。
- 追加免疫: 前回の新型コロナワクチンの接種から少なくとも3カ月経過後後に接種を受けることができます。

本ワクチン接種後7日間にみられた 主な副反応¹⁾

注射部位	疼痛 【88.5%】	リンパ節症* 【20.2%】	腫脹・硬結 【15.4%】	発赤・紅斑 【12.9%】
注射部位 以外	疲労 【66.8%】	頭痛 【58.7%】	筋肉痛 【49.8%】	悪寒 【38.3%】
	関節痛 【35.5%】	悪心・嘔吐 【21.7%】	発熱 【16.3%】	

*リンパ節症: 注射した同じ腕側のリンパ節(わきの下あたり)の痛み・圧痛・腫れ

※本副反応のデータは、本ワクチンの国内外における臨床試験の結果を参考として記載しております。

1) スパイクバックス筋注シリンジ12歳以上用 / 6ヵ月～11歳用 電子添文, 2025年8月作成 (第1版)

これら以外の症状が副反応として出る可能性があります。

本ワクチンを接種した後、特に数日間、ご自身の健康や体調の変化に注意し、普段と変わったことがあった場合は、医師に相談してください。

スパイクバックスは

新型コロナウイルス感染症を

予防するためのワクチンです。



本ワクチンの効果

時間が経過すると発症予防効果は低下することが知られていますが、流行している株に対応したワクチンを用いることで、重症化予防効果はもとより、発症予防効果の向上が期待されると考えられています。

新型コロナワクチンの種類(ワクチンに含まれる株)は、当面は毎年見直すこととされているため、定期的な接種をご検討ください³⁾。

3) 厚生労働省、新型コロナワクチンについて、新型コロナワクチンQ&Aより一部改変
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_qa.html#2 (2025年8月4日確認)

本ワクチンの接種を受けることができない方

- 明らかに発熱(通常37.5℃以上)している方
- 重篤な急性疾患にかかっている方
- 過去に本ワクチンを接種した時に
ショック、アナフィラキシーがあらわれた方
- 過去に本ワクチンに含まれている成分で重度の過敏症*のあった方
*: アナフィラキシー、全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸(どうき)、息苦しい、
血圧低下などのアナフィラキシーを疑わせる複数の症状
- 上記以外に医師が予防接種を行うことが不適当な状態にあると判断した方

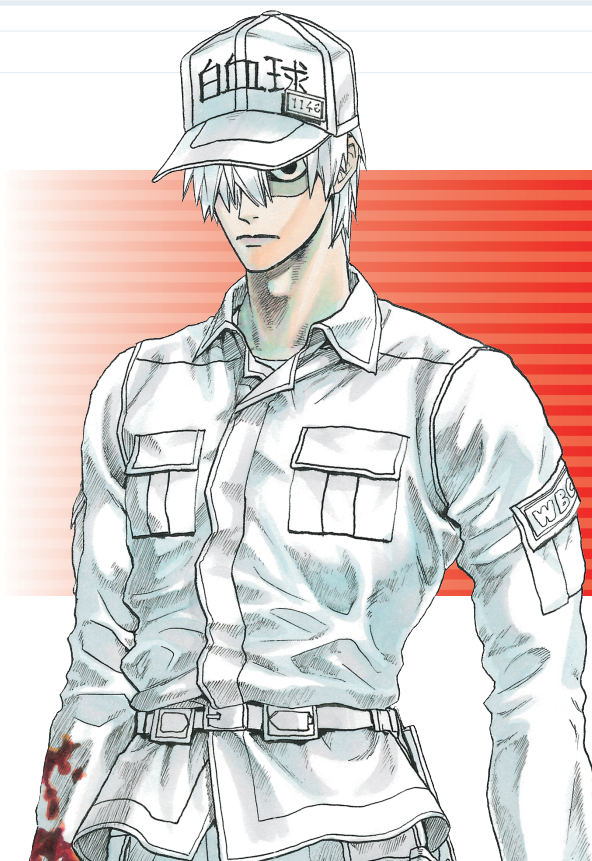
本ワクチンの接種に注意が必要な方

- 血小板減少症や凝固障害のある方、または抗凝固療法を受けている方
- 過去に免疫に異常があると診断されたことがある方や両親や兄弟に先天性免疫不全症の方がいる方
- 心臓や血管、腎臓、肝臓、血液の病気や発育の障害などの基礎疾患のある方
- 今までに、予防接種を受けて2日以内に発熱があった方や全身性の発疹などアレルギーが疑われる症状が出たことがある方
- 過去にけいれんを起こしたことがある方
- 本ワクチンの成分に対してアレルギーを起こすおそれがある方
- 腎機能障害のある方
- 肝機能障害のある方

※ 妊婦または妊娠している可能性がある方、妊娠の計画がある方、授乳されている方は、必ず接種前の診察時に医師に伝えてください。

※ 高齢の方は「ご自身の健康状態」を接種前の診察時に医師に伝えてください。

上記の項目に心当たりのある方は、
接種前に必ず医師にご相談ください。



©清水茜／講談社